

年 組

名前

神戸開港150年
みなと倶楽部ツアー 2017

日本財団「海と日本プロジェクト」

海を味わおう!「神戸のさかな」体験ツアー

2017年8月26日(土)



MEMO

市場とは？

中央卸売市場とは、私たちの毎日の食生活に欠かせない「野菜、果実、鮮魚、肉」などの生鮮食品や、生活を潤す「花き」などを全国各地から多く集めて、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点です。

神戸市には3つの中央卸売市場があります。

名前	場所	取り扱う品物
本場	兵庫区中之島1丁目1番4号	魚・水産加工品・野菜・果物
東部市場	東灘区深江浜町1番1号	魚・水産加工品・野菜・果物・花
西部市場	長田区対藻通7丁目1番20号	肉(牛・ぶた)

神戸市中央卸売市場本場は、1932年に全国で5番目に開かれました。市場の広さは107,867㎡ 野球場の面積の約7.5倍になります。

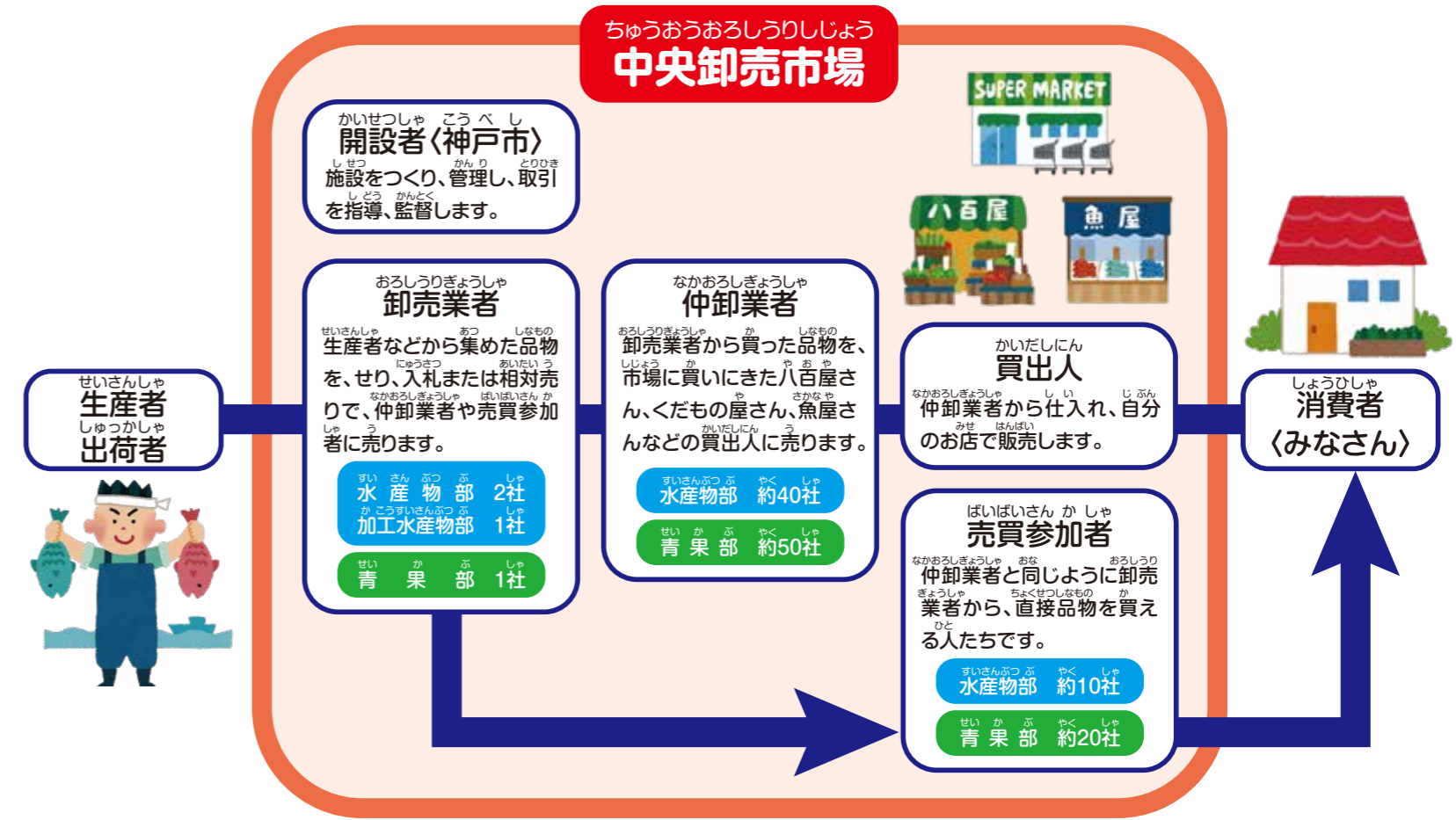
市場の6つの役割

- 荷物を(集める)
- 荷物を(分ける)
- 値段を(決める)
- 取引の決済
- 取引情報の収集・伝達
- 荷物を(貯蔵・保管)

運ばれてくる魚 ベスト3 3年間平均 (平成26年～28年)

- 第1位 (たい)
- 第2位 (さば)
- 第3位 (かつお)

中央卸売市場で働く人たち



「せり」って何? 「手形」って何?

せりとは値段を競い合い最も(高い値段)をつけた仲卸業者または、売買参加者に売る方法です。せりのときに、買い手は値段を(声)に出して言いません。その代わりに(指)で数字を表し、組み合わせています。せりの価格が同じになると、水産物部では(じゃんけん)をして、せり落とす人を決めます。

